

平成 26 年度岡崎市食育推進会議 会議録

開催日時 平成 27 年 3 月 24 日（火） 午後 2 時～3 時 30 分

開催場所 岡崎市役所東庁舎 2 階大会議室

出席及び欠席者 出席 21 名 欠席 8 名 （別紙名簿のとおり）

事務局 鈴木司朗（保健部部長）、片岡博喜（保健所長）、
大寫雄二（生活衛生課長）、小林哲夫（生活衛生課副主幹）、
川合弘晃（生活衛生課主査）

傍聴者 なし

会議次第

- 1 挨拶
- 2 報告事項
各課及び関係団体・企業の食育の取組み状況
- 3 議題
 - (1) 第 2 次岡崎市食育推進計画中間評価について
 - (2) 第 2 次岡崎市食育推進計画の修正について
 - (3) 食育推進体制の見直しについて
- 4 その他

〔会議資料〕

- 資料 1 各課等における食育の取組状況
- 資料 2 食育の取組調査票（団体）
- 資料 3 食育の取組調査票（企業）
- 資料 4 第 2 次岡崎市食育推進計画中間評価（案）
- 資料 5 第 2 次岡崎市食育推進計画の修正について
- 資料 6 食育推進体制の見直し案
- 資料 7 食育推進関係年表
- 参考資料 第 2 次岡崎市食育推進計画

議事要旨

1 挨拶（寺田副市長）

本日は、お忙しい中、平成 26 年度岡崎市食育推進会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃は、本市の行政推進にご理解とご支援を賜り、この場を借りまして、心よりお礼申し上げます。

本市では、市民の皆さんが健康で過ごせるよう、健康の源であります、「食」についての意識を高め、健やかで心豊かな生活が送れるよう、食育の推進にこれまで取り組んできたところでございます。

計画期間が平成 24 年度から平成 28 年度と 5 年間を計画期間としております。

第2次岡崎市食育推進計画においては、「食育は、自らを育む“ひとづくり”」をキャッチフレーズに基本理念に掲げ、これを実現するため、目指すべき姿として、市民の皆さんが、自ら食育を「学び」「教え」「協力し」実践することとし、市民の皆さん一人ひとりの食育の実践を関係者が支援し、協働することで、より効果的な取組に繋げることを基本的な方針として、様々な取組が実施されてきたところでございます。

本年度は、計画の中間期間にあたることから、食育の目標として掲げている数値目標の進捗状況を確認するため、先にアンケート調査を実施したところ、11,200人を超える皆様方にご協力頂きました。本日は、その結果をお示しし、計画の修正を含めた残り2年の取組みについてご協議を賜りたく存ずる次第です。

この会議の一層の活性化を図るため、来年度から食育推進体制の見直しも示させて頂きまして、基本的な方向性についてご意見を賜りたいと思っている次第です。

本日は、忌憚のないご意見、ご協議を賜りますことをお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 報告事項

各課及び関係団体・企業の食育の取組み状況

資料1、2、3より報告

3 議題

(1) 第2次岡崎市食育推進計画中間評価について

資料4事より説明

[質疑・応答等]

(委員)

来年度から健康と食育で活動されるということであるが、食育というと、朝食を食べるなど食べることに主観をおきすぎるといった感じがするので「食」「育」なので、育てるということも考えると「食」ばかりではないかもしれないが健康がすごく大事である。「朝ご飯を食べなさい、食べなさい」と言っても代謝がないとか睡眠が進まないとい食も進まない。代謝は主に体を動かすこと、頭を使うことだと思うので、睡眠、代謝、それが食を促進することを考えると健康・食育というのはとてもいい方向性だと思う。またデータも示されるということで来年度に向けて進められていいと思う。

(議長)

事務局から説明があった中間評価については、事務局が今整理したものを課題として説明したような方向でいくということで決定させていただくがよろしいか。

(委員)

異議なし。

(2) 第2次岡崎市食育推進計画の修正について
資料5より説明

(議長)

事務局から説明がありました計画の修正案については事務局からありましたとおり修正することよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(3) 食育推進体制の見直しについて
資料6より説明

(議長)

推進体制の見直しにつきまして、次回の食育推進会議までに、事務局から説明がありましたように詳細を検討させていただきまして、本日は今、説明させていただいた方向性で検討を進めるということでご承認をいただければと思います。よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(議長)

事務局から提示されました議題は以上です。議題に関わらずご意見がありましたらご発言をお願いします。

(委員)

アンケートですが、地域では分けてあるか。

(事務局)

地域性というよりは、学校・保育園を通じて保護者の皆さんにやってもらっている。結果的には地域になるかもしれないが、園別、学校別の色のほうが強いです。

(委員)

町の真ん中の人と周りとは野菜の摂取量が違うかと思うので、そういうアンケート的なことはしないか。

(事務局)

今回の中間評価 11,000 で母集団として 15,000 あるが、職員の手作業でやっているなので、今は速報ということでベーシックなデータを示した。せっかくのデータがあるので地域性、年代性、職業といったクロス集計をしながら、もう少し時間をかけてしっかり分析をしていきたいと思う。園ということで顕著に出るのが、中間評価の P16「国や市で行っている取組みを知っています

か」の質問を見ていただくと、下から2番目「食育だより」の認知度が一般の方より赤の保護者の方が圧倒的に高くなっている。普段見ているから高いのはもちろんであるが、「食育の日」の認知度の差は非常に大きい園がある。よく調べると「毎月19日の食育の日」に園で食育の取組みをやっているところは高く出る。「8020運動」も非常に高い数値が出ている。今回「噛ミング30」を初めて意識がどのくらいあるかを選択肢に入れてみたが、まだまだ低い傾向にある。こういった活動がすべて食にまつわる取組みで大切だと思うので、すべての数値で上げていきたいと考えているし、地域割りにについても分析していきたいと思う。

(委員)

中間の状況の報告ということで、残り後2年になって中間の評価が達成率の話ですが、すでに達成してしまったものを直してさらにいいもの出していくのも大事だが、達成できていないものを今の計画はすでに作られている、公表されている、それを28年度末に満たすようなものをどのようにして達成していくかが大事であると思う。市役所の7部門のそれぞれの分野の市民のニーズを聞いて、分野別の計画を同じように作って達成目標のところを取り組んでいる。今日の一連の報告で関連事業として載っているのは本来それぞれ個別の項目にある、食関連情報が出ている。この計画の達成のための項目ではなく間接的に寄与する情報である。これを保健部、保健所、健康増進課というこの計画を作った責任部局がこの計画達成のためにどのように取り組んでいるかが少ない。よその部局のたまたま出てきた実績データ、各種の教室・講座・イベントそれが何回というものは保健部の実績ではない。そうした中のオール岡崎の計画には違いないので、それが成果でこれを使いながら起用する実績になっていけばいいと思う。けれどそれは保健部の事業ではない。たとえば最終的には考察という言葉で出ているが、すでに計画書はできあがっていて、計画を作る前の課題は何か、その解消のために何をしていくかということで、元々作った計画であり、この段階で第三者的に何々を推奨する必要がある、様々な資料が必要であるといつて、起業家になっては困る。これが出たから保健部がそれをどう挽回していく、これに対してこのような取組みをしていますということをここで言わなければ、各課忙しい中で出席してきている中で、どうなっているか結果論、その分析結果を聞かされているだけで、だからどうしていく話が一言もない。次からはどのように達成にもっていくか、その実現方策の考え方をこれでいきたいがどうかということが議題になってくるといいと思う。そのためにもっと実践的な体制の見直しもいいが、今回の計画の修正で出てきたのは関連事業項目を増やしているだけである。行政が取り組んでいく時には啓発などいろいろと参加させていただく事業をするには予算がかかる。これを後2年しかない中で、今年の秋の予算編成の時に28年度の事業が決まってしまう。それまでに関係部署のところはどういう協力を求めることができるか、自らはどういう強化の

予算で持っていくか本当に達成したいなら保健部ですべて遅れている部分の予算をとって、そのところの執行をそれぞれの関係部局に頼むとか具体的な形で出たこないと結局は結果論としてどうでした、ということになってしまう。次からは具体的な方策というものを説明していただかないと他の部局は個別分野の同じような推進に取り組んでいるが、そのために予算もとるし、いろんな手をうっている。こちらが頼むこともある。拾い集めているだけで保健部としての取組みが感じ取れない。運営、進行管理を具体化して進めてよりよい計画が実現するような進め方を一工夫ほしい。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。資料1は羅列であるが細かな政策の積み重ねであり、これをもう少し発展的な資料として活用していきたい。資料7の1番下、説明は省いたが、岡崎市行財政改革推進計画として成果を重視した行政経営の推進に位置付けて見直しをするということで三段並んでいる「新たな計画進捗管理方法」ということでまさにPDCAサイクルいわゆるアクションプラン的なものの策定を検証という形で、遅れている部分をどうやって見直しして、どうやって次に取り組んでいくのかアクションプランとして次の将来的に整理してうまく持っていきたいと考えている。そのための条例に基づく専門委員会で取り上げた意見を賜りながら、遅いかもかもしれないが徐々に生かされるべく一生懸命しっかり庁内の話を聞きながらまとめていきたいと考えているので、ご理解とご指導をお願いしたいと思う。

(事務局)

事務連絡です。委員の任期は今年度8月23日までで今の委員の会議はこれが最後とさせていただきます。次回は次の第6期議員を任命させていただきます。8月の下旬～9月の中旬ごろに開催を考えている。委員の任命にあたりましては事務局から各団体に、市民公募もありますが、ご相談させていただきます。ご協力お願いします。また今日の食育推進対策見直し案という形で専門委員会の設置につきましても8月までに検討していきたく思いますのでそのあたりの具体的なご意見を事務局までお寄せいただきたい。

(議長)

推進体制の見直しにつきましては詳細を事務局においてすすめさせていただきます。先ほど意見が出ましたが、より推進体制が強力に円滑に進める体制に見直させていただきます。これを持ちまして、本日の協議させていただきます。議事は以上です。

岡崎市食育推進会議委員名簿

任期：平成 25 年 8 月 24 日～平成 27 年 8 月 23 日

(五十音順・敬称略)

役 職	し 氏 めい 名	所属団体	備考	
会長	うちだ やすひろ 内田 康宏	岡崎市長		欠席
委員	あさおか えつこ 浅岡 悦子	学区女性団体		
委員	いしかわ しんたろう 石川 新太郎	愛知県私立幼稚園連盟岡崎支部 支部長	平成26年7月1日～	
委員	いちかわ ふみお 市川 文勇	岡崎市六ツ美商工会 顧問		
委員	いとう まちこ 伊藤 万知子	愛知産業大学 教授		欠席
委員	かとう もとい 加藤 基	愛知学泉大学 准教授		
委員	かみや むつお 神谷 六雄	あいち三河農業協同組合 代表理事専務		
委員	しょうじ みつこ 小路 光子	市民公募		
委員	たけだ ともしこ 武田 知子	岡崎市食生活改善協議会 会長		
委員	はせがわ まさいち 長谷川 雅一	岡崎市医師会 副会長	平成26年7月1日～	
委員	はたの よしたか 波多野 吉孝	岡崎薬剤師会 会長		
委員	ほっとり よしお 服部 良男	岡崎商工会議所 副会頭		欠席
委員	はやかわ まさひろ 早川 勝博	岡崎市食品衛生協会 会長		
委員	はらだ としこ 原田 俊子	あいち三河農業協同組合女性部 部長		欠席
委員	ひらまつ りつこ 平松 立子	岡崎市ぬかた商工会 会長		
委員	ひろせ てるみ 広瀬 輝美	岡崎栄養士会 監事		欠席
委員	まの さだよ 真野 錠代	岡崎市公立保育園園長会 会長	平成26年7月1日～	
委員	やまだ ゆり 山田 悠莉	岡崎女子短期大学 講師		欠席
委員	やまだ ゆり 山田 友理	岡崎市PTA連絡協議会 書記	平成26年7月1日～	
委員	よつや かずこ 肆矢 和子	市民公募		
委員	わだ あきら 和田 昭	岡崎歯科医師会 会長		
委員	てらだ ゆうじ 寺田 雄司	岡崎市副市長		
委員	たかはし じゆん 高橋 淳	岡崎市教育長		欠席
委員	こや ひろまさ 小屋 裕正	岡崎市市民生活部長	平成26年4月1日～	
委員	いしかわ けいじ 石川 啓二	岡崎市文化芸術部長	平成26年4月1日～	
委員	すぎやま なおと 杉山 直人	岡崎市福祉部長	平成26年4月1日～	
委員	すずき まさよし 鈴木 雅良	岡崎市こども部長	平成26年4月1日～	
委員	やまだ やすお 山田 康生	岡崎市環境部長	平成26年4月1日～	
委員	かなもり たかし 金森 隆	岡崎市経済振興部長		欠席